

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水の蘇生は地域の活性化事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人しなとべ 諏訪市湖岸通り一丁目19番7号
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,173,953 円 (うち支援金: 1,260,000 円)

事業内容

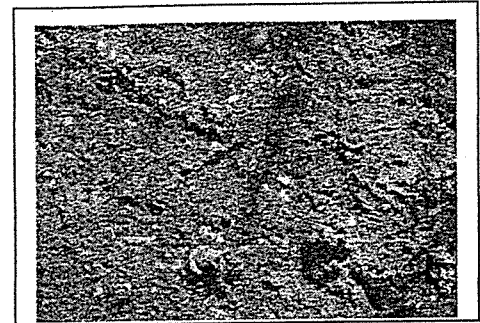
1 諏訪湖の流入河川等の水質浄化活動

(透明度の向上・汚泥削減・貧酸素化の解消)

諏訪湖の水質向上(透明度の向上、汚泥削減、貧酸素化の解消)の目的を達成するため、まず諏訪湖の流入河川等の浄化活動を、有用微生物群を用いた有用微生物ダンゴ投入により実施した。

2 小中学生向けの環境教育

環境の一般知識から、諏訪湖の現状と有用微生物群を用いた生物処理法による水質浄化(透明度の向上、汚泥削減、貧酸素化の解消)の教育を、実際に目で見て確かめて体験することにより、将来に向けての環境保全の意識付けを図った。



【落水川の汚泥削減・悪臭除去】

【目標・ねらい】

- ①児童へ興味をもってもらう(環境教育)
- ②河川浄化、汚泥の削減
- ③河川浄化、悪臭の除去
- ④真シジミ、カワニナの生育

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①環境教育から児童へ興味を持ってもらえた。この活動がもっと広く展開できればなおよいと思う。
- ②汚泥、ヘドロの削減、悪臭の除去、透視度の改善、貧酸素化の解消、小魚の遡上、当初の目的を上回る効果があった。生物の多様性、食物連鎖による持続性のある環境づくりには期待が持てる。
- ③例年暖かくなると悪臭がひどく風向きによっては窓を閉めたりしないといけなかったが、現在は改善された。
- ④真シジミの生育はなかなか困難であり、水位の問題や砂利の深さの問題等大きな課題を残した。今後の改善に向けて検討の余地がある。

※自己評価 **【A】**

【理由】

当初予定していたヘドロの削減、悪臭の除去、つけ加え生物の多様性、小魚の遡上がなよりの照明、児童生徒に環境教育の重要性を強く感じた。持続性の社会構築の必要性に改めて意を強くした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ①次年度は小・中・高と年齢層を広げた活動を展開したい。
- ②外来魚の駆除、7月末頃を目途に諏訪湖の浄化活動につなげていきたい。
- ③実績を活かし諏訪湖浄化活動の拡大と関係団体との連携を深めていきたい。
- ④砂の深さ、水の滞留についても課題が多いため、挑戦を続けていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある